

平成30年度 市民公開講座 スポーツを通じての人材育成・人間形成

主催／姫路獨協大学、姫路獨協大学播磨会 後援／姫路市教育委員会

姫路獨協大学のルーツである獨逸学協会学校の初代校長を務めた西周は、知育・体育・徳育の三育を教育方針とし、バランスの取れた人材の育成を図りました。言うまでもなく、「大学は学問を通じての人間形成の場」ですが、本学ではスポーツを通じても有為な人材育成に努めています。今年度は、そうした点で成果を上げている野球部、サッカー部、柔道部の部長や監督から、人づくりの秘訣についてお話をうかがいます。

多数の皆様のご参加をお待ちしています。

講座内容と講師

第一講

平成30年10月12日(金) 14:00～15:30

「学生野球を通じての『人間教育』の実践 ～30年間の指導を振り返る～」

姫路獨協大学硬式野球部のチーム作りの基本理念は「人間力の向上」。選手(大学生)が学生野球を通じて人間として成長していける、すなわち、人としての力「人間力」を育てていけるような方針で、開学以来30年にわたり硬式野球部を指導してきた取り組みを振り返ります。



岡本 悌二

姫路獨協大学 人間社会学群教授・
硬式野球部 部長
(硬式野球部監督/1988年～2017年
*2008年～2009年は総監督)
硬式野球部部長(2018年～)

第二講

平成30年10月19日(金) 14:00～15:30

「“対話”が重要 ～アメとムチ = 論理的思考と非論理的行動～」

昨今、スポーツ現場に限らず対話(コミュニケーション)の重要性が問われている。これはひとえに競技力の向上(生産性の向上)の追求と思われる。そのために科学的且つ論理的な指導法が日々研究されている。しかしながら一方でスポーツ現場には今なお、非論理的な思考の基の“指導”や“オーガナイズ”は消えていない。果たしてこれらの是非は?または両方の必要性は?



昌子 力

姫路獨協大学 人間社会学群教授・
サッカー部監督
(日本サッカー協会指導者養成
インストラクター・日本サッカー協会公認
S級ライセンス取得)

第三講

平成30年10月26日(金) 14:00～15:30

「柔道を通じた国際貢献と人づくり」

価値観の多様化・情報化社会の進展など、現代の我々は多くの課題を抱えています。

約50年前の海外生活体験談を中心に、多文化共生社会における人と人の絆、そして他人の価値観を理解し、共有して行くことなどが、それらの課題解決に当たって大切なことである。

柔道を通じて私が学んだ『730日の青春』を例にとり、皆様と共に考え、共有したいと考えます。



常深 進次郎

姫路獨協大学 柔道部監督・講道館柔道七段
昭和47年4月に外務省下、日本青年海外協力隊員としてマレーシア警察本部に派遣。県立高等学校長、JICAキャリアアカウンセラー、兵庫県立武道館館長を経て現職。

- 会場／姫路獨協大学創立20周年記念ホール
- 定員／200名(先着順、定員になり次第締め切り)
- 申込先／姫路獨協大学播磨会 事務局
〒670-8524 姫路市上大野7丁目2番1号 TEL 079-223-6564
- 申込み方法／往復ハガキに住所、氏名、電話番号、「市民公開講座参加希望」と明記して、平成30年9月28日(金)までに姫路獨協大学播磨会 事務局までお申し込みください。

受講料
無料

一枚のハガキで
2名様まで
お申し込み
いただけます。

姫路獨協大学播磨会事務局

〒670-8524 姫路市上大野7丁目2番1号
TEL 079-223-6564